

# 一般質問

## 秩父伝統芸能継承について

彩政会 小池 治

**問** 5月19日、20日の2日間にわたり、伝統芸能の発表会「平成秩父座」が道の駅隣で公演された。

**答** これは秩父歌舞伎正和会が中心となり企画及び実行をし、ほかの伝統芸能保存会から10あまりの団体が出演協力して行なわれたものであるが当局はどう評価したか。

**答** 秩父の伝統芸能の種類の豊富さや奥深さ、素晴らしさを感じ取っていたのだと思うし、「B級グルメ旨いもの祭り」も併せて開催されたのが良かった。

**問** 実行委員会による柔軟な発想と自主的で精力的な取り組みは、伝統芸能を継承する方々の情熱や力強さを感じることができ、有意義な公演であったと考える。

**答** 担当課の認識について。民族芸能・伝統芸能の公開のあり方について、今後ひとつ一定の方向性を示しているのではないかと認識が示された。

**問** 伝統芸能と観光の連携とその組織づくりについてはどうか。

**答** 国は伝統文化を観光や地域振興に役立てようと、平成22年度から事業を行っているし、秩父市でもこれを受けて後継者育成にも取

り組んでおり、伝統文化、芸能と観光、この辺を結ぶ横断的な組織で対応していく。

近い将来的には秩父地域の連携の核として法人格を持たせて、おもてなし観光公社でしっかりと事業を行っていく。



平成秩父座

◎学童クラブの窮状と今後の方針  
◎秩父市文化財保護方針について

## 小中学校の登下校安全管理について

彩政会 高野 宏

**問** 登下校中の児童や保護者の痛ましい交通事故が多発しているが教育委員会の対策は、また、自然災害時の学校の対応は。

**答** 国の作成した「通学路における緊急合同点検等実施要項」に沿って通学路等の危険箇所の調査、点検を行っている。

自然災害時等の対応についても、学校ごとの判断で、保護者と連絡を取って、十分安全に配慮して、進めていく。

### ●秩父祭り屋台国指定50周年記念事業について

**問** この事業に対する市の取組について。

**答** 50周年記念事業の一環として10月6・7・8日に中近および下郷笠鉾の組立・曳行・解体の特別公開を、本来の3層の花笠を付けた状態で行う。この事業については、市長より全庁的に取り組んで行うように指示があり、プロジェクトチームの立ち上げに向けて準備を進めており、観光面の宣伝や交通対策など、本事業が成功するよう全力で取り組むたいと考えている。また、産業観光部の協力を

得て、商工会議所や商店連盟連合会と連携し、イベントなどの企画を検討していきたいと考えている。



元気に登校

◎小中学校ホームページについて  
◎学校と地域の交流について  
◎観光客の街中誘致について  
◎町会・自治会の役割、運営  
◎孤独死防止等の対策

# 一般質問

## 将来を担う子どもに投資を

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

### 子育て・保育について

**問** 公立の保育士の臨時・パートの増員問題についての見解は。

**答** 平成24年度5月1日現在、臨時職員の合計が19人、パートタイマーの合計が79人。職員間の連携や子どもに関する情報共有についての指摘は常に密に連携をとり、情報を共有できる職場の体制作りを努めている。

**問** 秩父市では夜間保育の需要は。

**答** 現在、市に直接要望は無い状況であり、需要は高くないものと思われるが、就労形態の多様化が進んだ場合、需要は高まるものと認識している。

### 学童保育について

**問** 現在の市の利用状況は、児童30人から40人の施設はどこか。

**答** 公立では、宮地学童、南学童、荒川学童。民営の3施設。

**問** 市は児童40人まで指導員3人という考え方。県の基準は、おおむね10人に1人となっている。児童40人であれば、指導員は4人配置すべきである。これで安全な保育ができると考えているのか。

**答** 県の運営基準において、児童

数20人以上は3人以上の配置。当市は40人から50人の定員の学童保育室がほとんど。基本的に常時3人以上が常駐するよう嘱託の指導員4人、パート職員の補助指導員2人の臨時職員を雇用してシフトを組んでいる。安全のため必要に応じ増員等も検討する。



おいしいごはんをいっぱい食べて元気な子どもたち

◎ちびっ子広場交差点の安全対策

## 市役所・市民会館の合築について

日本共産党秩父市議団 新井康一

### 市民会館ホールは利用しやすい機能

**問** 市民会館ホールは利用しやすい機能を考えて面積は現在の市民会館以上の広さが必要である。市役所はバリアフリーなども考慮しなければならぬが、1階に配置する部所、そこで働く職員数、そのために必要な面積などは基本構想の中で検討されているのか。

**答** ホールや関連施設、市役所1階の窓口部門の配置等は設計者のノウハウを生かすためにも設計者に提案を求めたい。

**問** 前回は駐車場不足を指摘したが、具体案が示されない。駐車場不足は結果として施設の稼働率が上がらない原因となる。

**答** 運用の見直し等で常時駐車できる台数を確保したい。

### ワナ特区による獣害対策

**問** 狩猟免許がなくても講習を受けられることでワナにより害獣が捕獲できるワナ特区が今年から全国展開されるといいますが、当市においても獣害対策は深刻な問題であり、取り入れてはどうか。

**答** 県は第11次埼玉県鳥獣保護計画に「農林業被害防止の目的であれば狩猟免許を受けていない者に

### 林業の活性化について

**問** 秩父産材の活用と言えば間こえは良いが、山林地主が木材を売っても搬出費用で赤字になってしまう。この問題を解決しなければ林業は活性化しない。

**答** 利用をすすめる需要が高まることで活性化につながると考える。



解体準備が始まった市役所・市民会館

# 一般質問

## 街づくり構想について

彩政会 松澤 一雄

**問** 基本構想における道路網の整備は、「魅力を高める地域基盤づくり」として、幹線道路、生活道路の整備がうたわれているが、現在の取り組み状況について。

**答** 幹線道路、生活道の整備は、総合振興計画に基づき、地域再生計画を策定し、実施しており、現在5路線の整備を進めている。

**問** 国道140号と県道秩父荒川線を結ぶ道路の間隔が長い。中央1号線を国道140号まで延長、改良し、迂回距離を減らし、道路網整備を図ることについて。

**答** 中央1号線は、通勤、通学路として通行量が非常に多く、歩道の整備を含め、改良の必要性を考えている。国道140号までの延伸は鉄道の関係もあるが、市全体の道路整備計画のうちで調査、検討する。

### ●市営馬場の現状と活用方法について

**問** 市営馬場の利用を更に高めるため、以前に計画をした久那地域に移設し、馬術競技練習場等施設の充実を図るとともに子供たちと馬との触れ合い、野外乗馬、各種

イベント等の開催による多方面への活用方法について。

**答** 現在、会員やスポーツ少年団の競技練習のほか市民向けの乗馬教室を開催し、馬術競技の振興に努めている。乗馬は、全身の筋肉を鍛え、ホースセラピーによる心身を癒す効果のあるスポーツであり、市民の健康増進、また観光振興にも繋がることから、乗馬連盟とも協議の上、具体的に検討する。



来訪者を待つ市営馬場



## 秩父市の福祉と健康・地域が抱える問題

日本共産党秩父市議団 山中 進

**問** 介護保険について。

**答** 介護保険が改定され2カ月が経過した。利用者、事業所からの聞き取り調査では、改定前と比較するとサービスを受けた場合自己負担が増えている。事業所としては市としてのローカルルールをのぞんでいる。今後どのような考えがあるか。

**問** 大滝地域の現状について

**答** 養護教諭の配置について。

**問** 養護教諭が大滝小学校と中学校を掛け持ちして対応している。児童・生徒の、心身の健康管理、緊急時などの対応は。

**答** 市費で養護教諭を配置している。診療所や保健師と連携し対応したい。引き続き市費で配置する。

**問** 市道17号線中津川林道の現状と将来について。

**答** 県道への昇格要望、未改良部の法面対策や簡易舗装など、財源

を確保し整備を進めていきたい。

### ●放射能汚染から市民の健康を守る取り組みについて

**問** 高い放射線量の除染・農産物の測定について市の指針、広報は。

**答** 放射線測定の希望があれば、市で訪問し測定する。県、J.A、生産者と連携し、農産物の放射性物質調査を行っている。国の基準値を下回る数値となっている。市民の目線に立った広報をしていく。



市道17号線（旧中津川林道）通行止の看板

# 一般質問

## 市庁舎等建設事業は市民参加で

金崎昌之

**問** パブリックコメントに寄せられた全38件の意見の内、構想案に何らかの形で異を唱えるものが13件ののぼるなど、市民的な合意が図られているとは言えない。

**答** ここは一旦仕切り直し、十分な説明を尽くすとともに、ていねいに市民の声の把握に努め、その上で一度は住民投票やアンケートなどで広く市民の意思を確認する必要があると考えるが。

**問** 庁舎の建設問題は、秩父市の将来に責任を持つ立場から市当局と議会が結論を出すべきで、住民投票もアンケートも必要ない。

**●秩父市花観光の現状と今後**  
**問** 秩父市の花観光のメインである芝桜の入込み客数の推移を見ると、2007年の102万人をピークに頭打ち傾向にあると言える。加えて、芝桜期間の交通渋滞も課題となっている中、鉄道・バスなどの公共交通機関を活用した分散型の花観光が必要では。

**答** 鉄道やバス会社と協議・連携して、地域の活性化に寄与できるように研究したい。

## 安全・安心の市民生活と現業職員の確保

**問** 加速度的に進む秩父地域の高齢化により、道路・排水路等の安全管理が重要性を増す中、現業職員の欠員補充がされないため、道路や排水路の補修や災害時対応などに迅速な対応ができなくなっている。市民生活の安全・安心を確保するためには、現業職員の欠員補充が求められる。

**答** 現業職員の採用は非常に厳しい状況。



取り壊しを控えた本庁舎・市民会館

## 市の将来展望と企業誘致

彩政会 金田安生

**問** 将来の秩父市の人口規模をどの程度の大きさに維持したいと考えているのか。人口規模によって誘致の規模や予算、職員数、設備等も大分変わってくると思うが。

**答** 目標は「日本一幸せな街秩父市」を目指してがんばっている。秩父の特徴を活かしながら、まずは企業誘致や育成によって人口減を止めなければならぬ。数字での規模は考えていないが、賑やかな活気に満ちた町づくりを考えている。

## ●児童・生徒数激減による学校の統廃合

**問** 平成の初年に比べ24年経った最近と比較し生徒数はどのように変化しているのか。生徒の集合教育を行うのに、今の学校維持体制では問題があるのでは。

**答** 生徒数が激減し1学年1学級を維持できない学校もある。秩父全域的には平成元年に小中校併せて9千2百人いた生徒が平成24年には5千3百人と42%減少した。少人数になると集合教育の運動面の授業に問題が多いなど弊害はある。ただし単純に生徒数減だけで

学校の統廃合を論じる訳にはいかない。学校が地域文化の核になっている場合が多い。対象となる地域の色々な関係者から話しを聞き、地域の合意の上で将来に向け統廃合の形を作っていく。学校の建物は地域の防災拠点としての機能もあり転用についても、そのことを十分に考慮の上、慎重に判断したい。



現在の秩父市内

◎9月に実施される防災訓練について